みわを元気に

三和地域協議会ニュース　第１９号　平成３０年５月１７日発行

三和地域の人口・世帯数
男　1,653人
女　1,728人
合　計　3,381人
世帯数　1,709世帯
（平成30年4月末 現在）

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

第５回総会を開催しました

４月14日、三和地域協議会の第５回総会を三和荘で開催しました。代議員総数72名のうち50名が出席（委任状が15通）いただき、平成29年度の事業報告・決算、および平成30年度の事業計画・予算案が承認されました。

今年度は、▽三和地域公共交通空白地有償運送事業（みわひまわりライド）の継続▽「みわこどもまつり」の継続（６月３日（日）開催）▽「みわ子育て講演会」の開催（12月）▽住民自治アンケートの実施▽空き家マップの作成、空き家ツアーの充実・強化▽移住者交流会の継続などに取り組んでいきます。また、「生活拠点機能維持検討委員会」や「三和学園設立準備委員会」へ参画し、協議に加わっていきます。

会員である住民のみなさん、今年度も、三和地域協議会の活動への積極的なご参加、ご支援をよろしくお願いします。（事業計画は裏面に掲載しています）

仲野副会長による事業報告

新しい時代の福知山づくり
―福知山市長にご講演いただきました―

総会後、福知山市長の大橋一夫さんに記念講演をしていただきました。

「新しい時代の福知山づくり―旧３町など周辺地域における地域政策について―」と題し、▽福知山市全体の人口や高齢者率について▽福知山市の市町村合併の歴史▽現在の福知山市の財政状況について▽平成30年度の予算について▽三和地域での施策についてを、スライドと共に、自身の思いを交えながら分かりやすく説明してくださいました。

「市の財政状況が厳しい中で、昼間人口（通勤・通学・病院に他地域から来られる人）が多いという交流拠点としての強みを生かしていきたい」「役所の仕事を見直し、現地現場主義に則って考えていきたい」「自分自身も現場に行くなど、アネックス京都三和の企業誘致に力を入れている」事も話しておられました。

スライドと共に予算について説明される市長

2018 みわこどもまつり

６月３日（日）午後１時～４時
三和荘　ホール・体育館周辺にて

今年もやります「みわこどもまつり」！毎年たくさんの子どもたちで賑わう、三和地域発の子どものおまつりです。ここでは各コーナーについて、少しずつですが紹介します。

販売コーナー

午後１時から開始の販売コーナーでは、似顔絵、布や粘土の雑貨、スタイ、アクセサリー、アイシングクッキー、アイスクリーム、ドーナツ、ポップコーン、かき氷などが販売されます。みわふれあいカフェも出張しています。親子で楽しくお買い物してくださいね。（商品の購入は有料です）

遊びコーナー

外の遊びコーナー（午後１時～）では、竹馬・竹で作った水鉄砲で遊べますよ。体育館内の遊びコーナー（午後２時～）には、小さいお子さんにも楽しんでいただけるおもちゃを設置しています。（無料です）

人形劇

今年もみかんの木文庫さんと福知山淑徳高校人形劇講座さんによる、人形劇が開催されます。昨年とはまた一味違った演目になるそうなので、お楽しみに！（無料です）

手作り体験コーナー

午後２時からの手作り体験コーナーでは、折り紙、ポリマークレイの小物作り、不思議なおもちゃや楽しいおもちゃ作りなど、様々な手作り体験ができます。（無料です）

その他体験コーナー

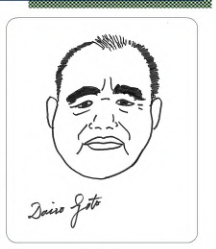
午後１時からは他にも、地元駐在所によるおまわりさん体験（犯人さがしゲームなど）、ゆう薬局による調剤体験・お薬相談、ＦＭ丹波による放送体験など、楽しい内容が盛りだくさんです。

他にも、こいのぼり・コンドルに続く、象徴的なオブジェがあるとか…？

６月３日、日曜の午後は、ご家族で、ぜひ三和荘へお越しください。いね。

昨年の手作り体験会場の様子

わたしの想い

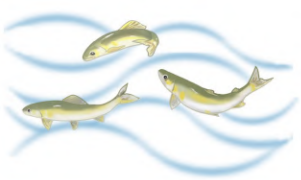


地域活力部会長
松下　正美

それでもやっぱり三和が好き。地域活力部会長の松下です。

私は６・７歳の頃から、川で鮎取りをしています。あれから60年経った今も、鮎取りをしています。何が変わったかというと、川に浸かれる時間が短くなった…のは私自身のことですが、川の形態も変わりました。自然の川岸が少なくなり、水路に近い川になってきています。それに伴い魚も少なくなってきたし、子どもたちも川に行かなくなったように思います。

川には危険もありますが、面白く学ぶところもたくさんあります。私にとって環境の変化を一番感じられるのが川なので、皆さんにも興味を持ってもらえたらなぁと思います。



話は変わりますが、最近音楽にはまっていまして、音楽を聴きながらだと、いつの間にか寝てしまいます。音楽は、心にも体にも良いものですね。

音楽といえば、三和音頭。地域活力部会の活動の中で、最初に取り組もうという話になったものの一つです。昨年はＣＤ音源とハッピも完成し、ＣＤ配布やハッピの貸し出しもはじめました。

この三和音頭、ただ単に踊るだけではなく、いま一部の老人会では普段の体操より動きやすいと好評だとお聞きしています。踊りを楽しみながら健康を維持できるということで、みなさんも、だまされたと思って一度三和音頭を踊ってみてはいかがでしょうか。

それから、三和音頭と共に最初の年から取り組んでいる、みわふれあいカフェ。この８月で３周年になります。私はコーヒーを飲みながら話したりしていることがほとんどですが、この楽しいカフェを毎週金曜日に来てきっちりと開いてくれるメンバー…地道に活動してくださっているこの方たちが、一番大切な存在であることは確かです。

これからも、三和地域を少しでも元気にしていく取組みを、『みんなで』やっていきたい。と、考えています。

平成３０年度事業計画(抜粋)

全体事業

一昨年から実施している「子育て講演会」のように、三和地域全体の地域振興に必要な事業を、様々な団体等と共同することも含め、取り組んでいきます。

さらに、定着した行事となりつつある「みわこどもまつり」のほか、地域全体で取り組む「三和ふれあいフェスティバル」「みわ夏まつり」等、住民活動のよりどころとなる行事を大切にしながら、新たに地域住民の知恵や元気を引き出せるような取り組みを、実施していきたいと考えています。

三和地域公共交通空白地有償運送事業（みわ ひまわり ライド）

運行２年目を向かえる「みわ ひまわり ライド」は、三和地域住民の生活基盤を支える移動交通手段として重要な役割を担うものであり、事務所機能の維持・地域住民の理解と協力・行政の支援など事業を健全に継続させる仕組みづくりとともに安全な旅客運送を目指します。

また年度当初には、市バスの運行を補完する「土曜日運行」や日常の買い物を支援する「ＰＬＡＮＴ（プラント）－３買い物便」など運行体制の強化・拡充を図ります。

常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的に開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や公立大学、各種団体との連携を密にし、効果的で効率的な事業運営をめざします。

地域活力部会

「みわこどもまつり」は今年度も継続して開催します。地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」は引き続き毎週金曜日に開催し、出張カフェも行う予定です。また、三和音頭については、イベントへの出演を継続し、地域への浸透を図ります。さらに、子育て講演会も開催する予定です。

〇みわこどもまつり

今年は６月に開催します。会場規模は変わりませんが、新たな体験ブースを増やすなど、さらにパワーアップしたこどもまつりを作り上げます。

〇みわふれあいカフェ

冬季休業を終え、平成３０年４月から再開しています。今年度も月１回は珈琲工房カリビアンさんのオリジナルコーヒーを出すほか、地域への出張カフェを行うことも検討しています。

〇三和音頭の普及

今年度も町内イベントに参加し、依頼いただけば踊りを教えに行くなど、三和音頭の普及に努めます。

〇講演会等の開催

１２月に、親子向けの運動遊び（体を使った遊び）についての講演会を開催する予定です。

〇ラジオ番組での広報活動

今年度も継続して、４月の放送からラジオ番組で三和地域のアピール活動を行っていく予定です。

〇その他

三和地域をより元気にするための取り組みを、部会で検討していく予定です。

生活基盤部会

前年度から話し合ってきた地域住民自治の維持・存続について、現状を把握し、対策を考えるアンケートを平成３０年度前半に実施する予定です。自治会の協力を得て、自治の第一線に立つ各組長にお願いしたいと思っています。

また、住み続けられる三和を維持するため、生活拠点機能を守る取り組みを「三和地域生活拠点機能維持検討委員会」と連携して進めます。

今年２月、地域で唯一のスーパーマーケット・三ツ丸ストア三和店が閉店となり、買い物の不便さが増しています。三和中心部の千束地区は、日常生活を支える拠点としての機能を備えていますが、そのエリアから機能の一角が失われる残念な結果となりました。

少子高齢化、過疎化の中で住民の日々の暮らしを維持していくために地域として何が必要で、どう守っていくか。住民と共に考え、市にも要望していきます。

〇住民自治を考えるアンケートの実施

アンケートでは、自治会各組の役員確保の状況や、組内の空き家状況、移住者の受け入れ、組の共同作業や自治会での組の役割などについて聞く予定です。

対象は組長。自治会長については市が同様のアンケートを行っていますので、それを参考にしたいと思います。

〇三和地域の生活拠点機能を守る取り組みを推進

地域の中心である千束地区には、市役所三和支所や金融機関、医療・福祉施設など、住民の日常の暮らしを支える機能が一応そろっています。来年４月には小中一貫校の三和学園も開校します。一方で、３０年以上続いたスーパーが撤退し、昨年末には三和地域で唯一のガソリンスタンドが無くなりました。

三和地域生活拠点機能維持検討委員会が、地域内で買い物が可能な商業施設の立地や、有償運送「みわひまわりライド」の「スーパーセンタープラント３」への運行を市に要望していますが、当部会でも検討委員会と連携して、地域の生活を支える拠点づくりに努めます。工場立地が進む三和の工業団地との交流も必要と考えます。

定住促進・情報発信部会

三和町内各自治会長にお願いしてご提出頂いた「空き家調査」に基づき、当該空き家の所在地を訪れて建物の構造や状態、立地環境等について目視による調査を実施。その結果を受けて三和町内全域の空き家マップの作成に取り組み、当町への移住希望者の要望等に沿う空き家を手早く現地案内できる態勢の確立を目指したい。また、これと並行する形で前年度から取り組んでいる移住希望者を空き家に案内する「空き家ツアー」の充実、強化を図りたいと思っています。

また、地域の自治会長会や諸団体と協議しながら、国府や市の有利な制度の活用や導入について、検討を進めていきたいと考えています。

併せて、平成２７年度から開催している移住者交流会についても、移住者のみなさんの思いを尊重しながら開催していきたいと思います。

拠点地域に新たな商業施設の誘致を進める事業

「生活拠点機能維持検討委員会」を中心に、誰もが気軽に地域内で買い物ができるよう、三和支所や地域内の諸団体と連携・協働して新たな商業施設の誘致に取り組みます。

学校統合に伴う地域の取り組みについて情報交換・連携を進める事業

平成３１年４月に開校する「三和学園」については、三和学園設立準備委員会において、最終年度として要望事項に基づき整備が進められます。

具体的には、開校に向けた施設整備やスクールバスのルートの決定等が行われ、平行して菟原小学校と細見小学校においては、永い歴史に幕を下ろす閉校記念事業が進められます。

協議会では、引き続き準備委員会に参画し、地域の公共交通のあり方や学園の周辺整備、旧川合小学校を含めた閉校後の学校施設の跡地活用等、三和地域全体の課題として引き続き協議に加わっていきます。

地域住民活動支援事業

さまざまな地域振興事業や、三和地域の維持存続を図り暮らす人が元気で過ごせるための活動をする団体や地域を支援します。また、地域活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、住民活動の活発化を図ります。

広報紙「みわを元気に」の発行

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

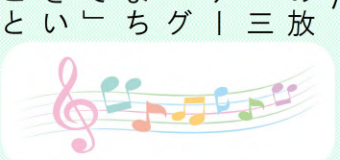
その他の事業

その他、三和地域の存続発展と、地域住民の生活改善、福祉向上につながる事業に取り組みます。

ラジオは、三和音頭とこどもまつりについて

ＦＭ丹波で月曜～金曜午後４時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月１回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー。第４回が２月28日に、第５回が４月26日に放送されました。第４回は三和音頭について、踊り手として活動しておられる土井琴美さん・土井淑子さん・谷口則子さんをお招きしてお話していただき、第５回はみわこどもまつりについて、手作り体験コーナーでお世話になっている由良恵子さんをお招きしてお話していただきました。

第５回の放送では、三和町のテーマソング「このまちに生きて」もお聞きいただくことができます。



↑このQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）

第４回　第５回

毎回進行してくださっている水谷直美さんも、いつも楽しいコメントで場を和ませてくださる松下正美さんも、ゲストの方が和めるようにリラックスした雰囲気を作り出してくださっています。「私も三和でこんなことしているから、ラジオで話してみようかな」という方、ぜひ協議会事務局までご連絡ください。三和のほっこりと楽しい雰囲気をアピールするため、ご協力いただけると嬉しいです。

編集後記

息子が鉄道好きになって1年以上経ちます。クルマ大好きだったはずが、いつの間に鉄道にシフトしたのか…さすがは鉄道のまち福知山、といったところでしょうか（三和には鉄道は走っていませんが）。

鉄道好きの子どもを「子鉄」というそうですが、うちの子もまさしく子鉄で、毎日鉄道のテレビを見ては鉄道会社や駅の名前、鉄道好きの芸能人まで覚えまくり、電車のおもちゃで仮想の路線を作り、電車に乗ったら先頭車両の運転室後ろにかじりついて離れません。車のカーナビでも駅を検索し、終いには登録している場所の名前を自分のお気に入りの駅名で上書きしてしまいました。巻き込まれまくっていますが、電車に乗りに色んな所に行けるのは楽しいし、珍しい車両を見ると自分もテンションが上がるので、一緒に出掛けてくれる間にとことん楽しもうと思っています。